

令和7年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和7年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡市文化振興事業団		所管課	文化国際課
所在地	〒020 - 0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス5階			
電話番号	(019) 621 - 5102		設立年月日	
代表者	理事長 三浦 宏 ☐ 常勤 ☒ 非常勤		☐ 市OB ☐ 市現職 ☒ その他	
設立目的	盛岡市における文化の振興を図ることにより、市民の心豊かな生活の実現に資することを目的とする。			
主要事業	① 音楽、舞踊、演劇、美術その他の芸術文化に関する鑑賞事業 ② 文化、歴史及び社会教育に関する教育普及事業 ③ 市民が行う文化活動の育成及び支援に関する事業 ④ 文化、教育等に関する調査研究、情報の収集及び提供事業 ⑤ 歴史、芸術、民俗等に関する資料収集、調査研究、保管、展示等の事業 ⑥ 生涯学習、社会教育の推進及び活動の支援に関する事業 ⑦ 文化及び社会教育関係施設等の管理運営事業 ⑧ その他事業団の目的を達成するために必要な事業			

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	
☒ ある (アドレス http://www.mfca.jp/)	
☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☐ 作成予定なし	
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	
☒ 事業内容 ☐ 財務状況 ☐ 役員氏名 ☒ その他(定款、設立趣意書等)	
ホームページ以外での情報提供の方法	
情報誌「ぽけっと」、自主事業一覧、事業チラシ、X(旧Twitter)、YouTube	

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計		
			うち市OB	うち市派遣				
役員	理事		1	1	0	8	9	
	監事		0	0	0	2	2	
	計		1	1	0	10	11	
職員	管理職	正職員	7	2	0	0	17	
		臨時職員	10	—	—			
	一般職	正職員	9	0	0	0	69	
		臨時職員	60	—	—			
	計	正職員	16	2	0	0	86	
		臨時職員	70	—	—			
前年度と比較して職員数の増減			増	4	減	0	常勤職員の平均年齢	48 歳
常勤職員の給与体系								
☐ 法人独自の給与体系			☐ 市の給与体系を準用			☒ その他(一部市の給与体系を準用)		

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	100,000 千円	本市出資等額	100,000 千円	本市出資等割合	100.0 %
主な出資等者					
① 盛岡市	(出資等割合 100 %)				
令和7年度における当市の財的関与の状況	補助金	96,106 千円	(収入全体の	10.1 %)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	734,137 千円	(収入全体の	77.1 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 芸術文化の鑑賞機会の充実と担い手への支援事業 (令和7年度予算額 38,241 千円)					
② 芸術文化を支える人材や団体の育成及び環境の充実 (令和7年度予算額 43,238 千円)					
③ 芸術文化の力を活用したまちづくり事業 (令和7年度予算額 8,862 千円)					
④ 芸術文化の情報収集発信事業 (令和7年度予算額 5,765 千円)					
負担金・交付金内訳					
① (令和7年度予算額 千円)					
委託料内訳					
① (令和7年度予算額 千円)					
指定管理料内訳					
① 盛岡市民文化ホール指定管理料 (令和7年度予算額 211,327 千円)					
② 盛岡劇場指定管理料 (令和7年度予算額 116,075 千円)					
③ 都南文化会館指定管理料 (令和7年度予算額 112,325 千円)					
④ 渋民文化会館指定管理料 (令和7年度予算額 72,895 千円)					
⑤ 盛岡市先人記念館指定管理料 (令和7年度予算額 62,150 千円)					
⑥ 原敬記念館指定管理料 (令和7年度予算額 25,191 千円)					
⑦ 石川啄木記念館指定管理料 (令和7年度予算額 34,733 千円)					
⑧ 盛岡てがみ館指定管理料 (令和7年度予算額 22,357 千円)					
⑨ 河南公民館指定管理料 (令和7年度予算額 24,125 千円)					
⑩ 都南公民館指定管理料 (令和7年度予算額 25,559 千円)					
⑪ 渋民公民館指定管理料 (令和7年度予算額 27,400 千円)					
貸付目的 (貸付金がある場合記入)		利用料金対象施設 (利用料金制を採用している施設がある場合記入)			
		盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、都南文化会館、渋民文化会館、河南公民館、都南公民館、渋民公民館			
		利用料金収入(令和7年度予算額)		73000 千円	
		法人の収入全体の		7.7 %	

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、都南文化会館、渋民文化会館、盛岡市先人記念館、原敬記念館、石川啄木記念館、盛岡てがみ館、河南公民館、都南公民館、渋民公民館
-------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
①自主事業経費 (文化会館)	千円	計画	66,565	70,544	67,292
		実績	56,149	58,072	56,645
②指定管理施設の 利用料金	千円	計画	70,522	70,522	73,000
		実績	57,877	67,749	70,466
③施設管理費	千円	計画	691,413	691,413	694,934
		実績	631,466	648,574	663,476
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円、%、人)

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収支の状況	総収入	934,087	927,431	972,343
	当期収入(A)	846,435	859,003	938,399
	基本財産運用収入	2	2	4
	会費収入(入会金収入を含む)	1,074	713	928
	補助金等収入	106,912	154,524	111,393
	うち市からの補助金等(B)	100,912	100,535	111,218
	事業収入(C)	698,804	701,646	825,925
	うち自主事業収入	87,844	101,249	106,077
	うち市からの委託料(D)	0	0	
	うち市からの指定管理料(E)	610,960	600,397	719,848
	繰入金収入	0	0	
	市からの借入金	0	0	
	その他の収入	39,643	2,118	149
	前期繰越額	87,652	68,428	33,944
	総支出	865,659	893,487	909,684
	当期支出	865,659	893,487	909,684
	人件費	291,873	300,217	299,651
	事業費(人件費除く)	565,167	581,167	594,048
	管理費(人件費除く)	3,841	9,576	4,966
	資産取得支出	4,346	2,527	11,019
	繰入金支出	0	0	0
	その他の支出	432	0	0

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収支の状況	当期収支差額	-19,224	-34,484	28,715
	次期繰越収支差額	68,428	33,944	62,659
正味財産の状況	経常収益(F)	846,435	857,009	938,399
	経常費用	864,520	886,219	901,877
	当期経常増減額	-18,085	-29,210	36,522
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	5,769	0
	当期経常外増減額	0	-5,769	0
財産の状況	資産(G)	317,517	278,056	338,433
	うち固定資産	164,606	164,561	171,148
	うち流動資産(H)	152,911	113,495	167,285
	負債	113,640	109,268	133,195
	うち固定負債	24,258	24,527	25,481
	うち流動負債(I)	89,382	84,741	107,714
	正味財産(J)	203,877	168,788	205,238
	うち当期正味財産増減額	-18,516	-35,089	36,450
財務指標	流動比率(H/I)	171.0	133.9	155.3
	自己資本比率(J/G)	64.2	60.7	60.6
	職員一人当たり収益高(F/(K+L))	9,618.6	9,738.7	10,663.6
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	11.9	11.7	11.8
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	87.4	85.5	87.1
組織の状況	常勤役員数(K)	1	1	1
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	87	87	87
	うち常勤職員数	87	87	87
	うち本市OB	7	7	7
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	17	17	17
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	9	9	9
	管理職員比率	19.5	19.5	19.5
	職員新規採用数	12	12	14
	うち常勤職員数	12	12	14
事業指標	① 盛岡市民文化ホール利用人数	175,577	203,230	228,271
	② 盛岡劇場利用人数	33,082	37,746	40,103
	③ 都南文化会館利用人数	42,069	50,678	62,456
	④ 渋民文化会館利用人数	20,996	25,386	24,723
	⑤ 先人記念館利用人数	7,315	7,918	9,338
	⑥ 原敬記念館利用人数	5,471	5,353	6,035
	⑦ 石川啄木記念館利用人数	6,385	891	0
	⑧ 盛岡てがみ館利用人数	3,601	4,911	4,127
	⑨ 河南公民館利用人数	18,335	22,675	21,601
	⑩ 都南公民館利用人数	50,792	57,780	64,063
	⑪ 渋民公民館利用人数	13,803	18,494	19,690

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
本市の財政的関与等の状況	補助金額	100,912	144,435	111,218
	① 財団総務管理費	80,498	80,121	84,048
	② 芸術鑑賞事業費	12,493	10,974	12,173
	③ 文化会館活動事業費等	6,528	8,037	6,841
	④ 情報誌発行業務	1,393	1,403	1,400
	⑤ エネルギー価格高騰対策支援金	0	43,900	2,656
	⑥ コミュニティ助成事業補助金			4,100
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	610,956	600,392	719,848
	① 盛岡市民文化ホール指定管理料	163,836	160,237	211,416
	② 盛岡劇場指定管理料	91,716	91,097	113,478
	③ 都南文化会館指定管理料	90,895	90,470	111,379
	④ 渋民文化会館指定管理料	56,981	57,438	72,895
	⑤ 先人記念館指定管理料	62,512	62,570	62,620
	⑥ 原敬記念館指定管理料	25,321	25,285	25,354
	⑦ 石川啄木記念館指定管理料	23,117	19,366	22,856
	⑧ 盛岡てがみ館指定管理料	21,907	21,847	22,766
	⑨ 河南公民館指定管理料	24,838	23,820	24,125
	⑩ 都南公民館指定管理料	26,711	25,394	25,559
	⑪ 渋民公民館指定管理料	23,122	22,868	27,400
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			
令和6年度決算の概要		・令和6年度は、文化会館4館、河南・都南・渋民の公民館3館、盛岡てがみ館の指定管理更新の年度となり、昨年まで支出超過の大きな原因となっていた光熱水料費の負担が指定管理料への増額や電気量の削減に努めたことなどで解消されたことなどから、再委託経費など経費の高騰による経費の増額はあったが、収入超過の決算となった。その他、利用料金収入も対前年と比べ増額となった。 ・引き続き外部資金の導入に努めた。 ・基本財産及び運用財産を適正に管理・運用し、健全な法人運営を行った。		

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好、 B:概ね良好、 C:改善を要する、 D:大いに改善を要する
(コメント) 令和6年度からの再指定に伴い、人件費や光熱水費等の高騰に即した指定管理料へ見直しを行った。また、利用料金収入の増加や助成金の活用による外部資金の確保に努めることで、令和6年度は黒字となっており、公益財団法人として基本財産及び運用財産の適正な管理、運用に努め、健全な法人運営を行っている。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和5年度決算において黒字である。		○
2	令和6年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。		○
4	令和6年度決算において減価償却前黒字である。		
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」